

1 単元名 世界のすがた

「私たちのくらす地球」 (全5時間)

大垣市立西部中学校 石井照久

2 単元のねらい

地球儀や世界地図, 統計資料に親しむとともに, それらを積極的に活用しながら, 地球上の様々な特色を意欲的に調べようとする事ができる。

地球儀や地図帳を用いて, 緯度や経度から地球上の位置を示したり, 時差を求めたりすることができる。

3 単元で培いたい学び方

地球儀や世界地図を活用し, 緯度と経度, 時差, 大陸と海洋の分布などを取り上げ, 生活の舞台としての地球に関心をもつことで, 地球的規模での位置関係をとらえる基礎的な知識や技能を身につけようとする学び方。

4 内容のまとめりごとの評価規準 地理的分野の内容(1)ア「世界の地域構成」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
生活舞台としての地球に対する関心を高め, 地球上の位置関係と水陸の分布, 国々の構成と地域区分を意欲的に追究し, 世界の地域構成をとらえようとしている。	世界の地域構成を地球上の位置関係と水陸の分布, 国々の構成と地域区分を基に多面的・多角的に考察している。	世界の地域構成をとらえるために地球儀や世界地図を活用するとともに, 世界の地域構成を追究し考察した過程や結果をまとめたり, 説明したりしている。	世界の地域構成を地球上の位置関係と水陸の分布, 国々の構成と地域区分を基に理解し, その知識を身につけている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	地球表面の様子や現代の世界を構成する州や大陸, 国々に対する関心を深めている。	大陸と海洋の分布を基に世界の地域構成を考察している。	地球儀や世界地図の長所・短所に留意して読みとりを行うとともに地図帳を適切に活用している。	大陸と海洋の大まかな形状と位置関係を理解し, その知識を身につけている。
学習活動における具体的評価規準	大陸と海洋の大まかな形状と位置関係を地球儀や世界地図を活用して意欲的に調べ, 白地図に正しく書き示している。 【第1時 白地図への記入と活動の様子】	実際の地球と平面に描かれた世界地図の異なる点を考察し, 「面積」「形」「方角」「距離」のうち, 2つ以上の視点で, 地球儀と地図の違いを見つけている。 【第3時 発言内容と学習プリント記入】	緯線と経線の役割を正しく理解し, 地球儀や世界地図を活用して, 地球上の位置を緯度と経度を用いて正しく表現している。 【第2時 発言内容と学習プリントの記述】 地図帳の「索引」を活用して地名を見つける方法と, 「縮尺」を使って2点間の距離を求める方法を正しく理解して作業をしている。 【第3時 活動の様子とプリントへの記述】 経度の差をもとに計算して正しく時差を求めることができる。 【第4時 プリントへの記入】	6つの大陸と3つの海洋を正しく理解している。 【第1時 白地図】 日本の標準時子午線が明石市を通る東経135度であることを理解している。 【第4時 プリントへの記入】

